

公益社団法人 日本造園学会北海道支部

2021 年度総会議案書

会期：2021 年 10 月 16 日（土）

会場：日本造園学会北海道支部ホームページ 特設サイト

総会次第

1) 報告

- ・ 2020 年度事業報告（資料 1）
- ・ 2020 年度会計報告（資料 2）
- ・ 2021 年度運営委員（資料 3）
- ・ 2021 年度事業計画（資料 4）
- ・ 2021 年度予算（資料 5）

(公社)日本造園学会北海道支部 2020年度活動報告

1. 北海道支部大会

日時：2020年10月10日(土)～10月18日(日)

会場：WEB開催(北海道支部ホームページ特設サイト)

主催：公益社団法人日本造園学会北海道支部

共催：一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会北海道支部、一般社団法人北海道造園緑化建設業協会

後援：国土交通省北海道開発局、環境省北海道地方環境事務所、北海道、札幌市、公益社団法人日本都市計画学会北海道支部

参加者数：107名

内容：

- ・研究・事例発表(口頭発表：4件、ポスター発表：22件)
- ・研究・事例報告発表要旨/会報における特集「民族共生象徴空間(ウポポイ)」の掲載

2. 北の造園遺産認定事業

北の造園遺産研究会

日時：2020年7月30日(木)18:00-19:30

会場：札幌市公園緑化協会 会議室

出席委員：近藤哲也(委員長)、太田広、木村篤、伊藤節夫、酒井裕司、鈴木浩二、笠康三郎、高橋美香

1. 第11次募集の候補について

ひまわりの里 (北竜町)

霧多布湿原 (浜中町) 推薦決定

しれとこ100平方メートル運動地 (斜里町) 推薦決定

濤沸湖と小清水原生花園 (網走市、小清水町)

根室フットパス (根室市)

釧路湿原国立公園 (釧路市、標茶町、鶴居村、釧路町)

ウトナイ緑地 (苫小牧市)

アポイ岳 (様似町)

釧路八重 (釧路市) 推薦決定

2. 審査委員会の日程と構成について

・8月24日(月)に決定

・メンバーは、近藤座長、角先生、太田支部長、酒井氏の4名。

第11次『北の造園遺産』選考委員会

日時：2020年8月24日(月)18:00-19:00

会場：札幌市公園緑化協会 会議室

出席委員：近藤哲也(委員長)、角幸博、太田広、酒井裕司
事務局(笠康三郎、高橋美香)

第11次『北の造園遺産』の選考の結果、「霧多布湿原」(浜中町)、「しれとこ100平方メートル運動地」(斜里町)、「釧路八重」(釧路市の3件が特に優れたランドスケープ遺産として『北の造園遺産』に認定された。

第12次『北の造園遺産』候補の募集

支部ホームページおよびメーリングリストにて、第12次北の造園遺産候補の募集を開始した。応募締め切りは2020年3月31日とした。

3. 支部研究会

「国立民族共生公園における水辺の植生環境の創出」

日時：2020年12月3日（木）18:00-19:00

会場：オンライン開催

講師：櫻井善文氏（株式会社ドーコン環境保全部）

要旨：講師の櫻井氏は、今年度にオープンした国立民族共生公園のポロト湖岸やウツナイ川流路の復元と抽水植物による水生植物群落の再生に取り組んだ。研究会では、周辺の湿地や河川も参考にした水生植物群落の成立要因の分析、生育環境の改善、抽水植物の移植作業、施工後の状況について説明があった。再生箇所の選定、再生目標の設定、施工後の維持管理などについて視聴者と質疑応答が交わされた。札幌市以外や本州からも参加があり、オンライン開催ならではのメリットもあった。

参加者：22名の参加があった。

4. 北海道支部運営委員会

第1回

日時：2020年6月5日（金）

会場：メール会議

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メール会議で実施した。
- ・ 事務局より議案書をメール添付でお送りし、意見がある場合は6月10日（水）までにご連絡いただくよう文書にて周知した。
- ・ メール会議の結果、今年度支部大会は、研究・事例報告（ポスター・口頭）だけを北海道支部HP上でweb開催することなどが原案通り承認された。

第2回

日時：2020年9月25日（金）

会場：メール会議

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メール会議で実施した。
- ・ 事務局より議案書をメール添付でお送りし、意見がある場合は9月30日（水）までにご連絡いただくよう文書にて周知した。
- ・ 支部総会は大会前にsmoosyを通じ北海道内の学会員に議案を送付 会期中にメール審議を開催し審議結果をsmoosyにて報告する、諸事情により議案の送付、審議は会期後となる可能性がある旨が資料により説明され、審議の結果原案通り承認された。
- ・ 10月10日～18日開催予定の北海道支部大会の準備を実行委員会メンバーで進めていることが資料により説明され、審議の結果原案通り承認された。

第3回

日時：2020年10月19日（月）18:30-20:30

会場：札幌市立大学サテライトキャンパス

出席者：出席者：太田、愛甲、四宮、大島、高瀬、福原、笠、関野、篠宮、山田、椎野（敬称略）

【次期支部長】

- ・ 支部長から次期支部長として愛甲氏の推薦があった。支部規程に基づき、今後北海道内の学会員を対象にメール会議にて支部総会を開催（本部のSMOOSYからメールを送付）運営委員会として愛甲氏を推薦し、承認の可否を返信いただくこととした。

【全国大会】

- ・ 2022年度全国大会の開催について議論を行い、以下のような意見が出された。
- ・ 北大は新型コロナウイルス感染症対策で会場使用に制限がかけられており、開催に必要な会場が確保できるか懸念される。・ 予算が確保できるのであれば、コンベンションセンターなどの確保も考えられるのではないかと。あと2年なので、会場の仮予約を進める必要がある。
- ・ 金曜日は北大農学部の部屋が借りられないので、金・土を学术交流会館で行うなど
- ・ の対応が必要。金・土を恵庭で開催する方法もあるのでは。

- ・ 大きめの会場確保が必要なので、開催の受け入れに際しては経費を本部で負担してもらうよう交渉すべきではないか。見学会などかなりの部分を外注して実施すべきであり、経費は支部からは支出できない旨を事前に本部に伝えるべき。
- ・ 主立った会場の予約状況を確認し、可能性を検討して方向性を決めることとした。本部への回答はその後に行うこととする。

【支部協賛金】

- ・ 支部大会開催にあたり、協賛金を10万円(2件)いただいているが大会支出が10万円を超えていない(会場費が発生していないため)。コンサル協会と北造協に5万円ずつ返金する対応とする(本部事務局に確認の上、手続きを進める)こととした。

【支部大会】

- ・ 支部大会オンライン開催について振り返りとして以下の意見があった。
- ・ ポスター発表：昨年まで対面でやりとりしていたが今回はテキストのみでの審査対応となったが、ポスター発表もコアタイムを設けて言葉でやりとりできる方法もあったのでは。作品のニュアンスを引き出すのが難しかった。
- ・ 大会準備で役割分担がかなり変更になることがあった。来年度オンライン実施の可能性もあり、今年度の分担を振り返り整理しておいてもよいのでは。
- ・ 口頭発表は座長が進行をうまく対応いただいた(座長：大学教員、発表：学生)。座長はコメント欄も確認いただいたのでうまく回っていた。
- ・ 発表者へのコメントがうまく返されないことがあった。コメント入力により通知が出るようにすれば学生もコメントを返してくれるのでは。発表終了後も内容が閲覧・確認できるとよいのでは。

【研究会】

- ・ ウポポイをテーマに支部研究会をオンラインで開催してはどうか。

第4回

日時：2021年3月23日(火)

会場：札幌市立大学サテライトキャンパス

出席者：太田、四宮、上田、大島、酒井、孫田、高瀬、中田、中林、福原、松島、笠、篠宮、山田、関野、椎野(敬称略)

【2020年度活動報告・決算】

- ・ 2020年度活動報告、決算が資料により説明された。2020年度決算について「委託費」を「パネル制作費」に変更すべきとの意見があり、審議の結果修正について承認された。

【2021年度事業計画・予算案】

- ・ 2021年度事業計画、予算案が資料により説明され、審議の結果原案通り承認された。

【2021年度全国大会について】

- ・ 2021年度全国大会の日程、会場等について資料により確認した。
- ・ 次年度北海道開催予定であることから、できるだけ北海道支部会員は大会に参加いただきたいとの依頼があった。

【2022年度全国大会について】

支部長より理事会資料が配付され、以下の点について報告された。

- ・ 4月から2ヶ月以内に総会を開かなければならないが、支部から緑化フェアの開催時期に合わせて全国大会を開催したい旨の申し入れを本部に行った。本部において定款の変更を2ヶ月以内・3ヶ月以内に変更してもらえよう調整中。
- ・ 候補日程は緑化フェア開幕1週間前の2022年6月17日(金)~19日(日)。
- ・ 初日の学生デザインコンペ、2日目のミニフォーラム等は恵庭市で実施する方法で調整中。
- ・ 全国運営委員会メンバーについては、支部大会運営委員と恵庭市関係者等で構成される予定。

【その他(支部大会テーマ等)】

2021年度支部大会テーマについて以下のような意見があった。

- ・ 支部大会テーマとして、防災やグリーンインフラなどが引き続きテーマとなり得るのではないか。
- ・ コロナ関係のテーマとして、公園利用がどう変わったかというテーマがあり得るのでは。旭

山記念公園は駐車場が非常に混雑しているとの報告があり、レクリエーションとして見直されているのではという議論があった。

- ・ 信州大の上原先生が緑地に出ることによるストレス軽減に関する研究活動を行っている。
 - ・ 官民連携という切り口もあるのでは。今月末に開園する宮城の国立追悼記念施設で計画の段階から震災伝承の方たちを巻き込んで開園に至った。植物管理の活動団体も巻き込んで取り組みを行っている。
 - ・ 高齢化のテーマもあり得るのでは。
 - ・ ウポポイ、アイヌ振興、平取町重要文化的景観なども考えられる。
- 北の造園遺産の募集を3月末まで受け付けしているとの報告があった。

5. 北海道支部大会実行委員会

第1回

日時：2020年7月8日（月）18:30 - 20:00

会場：オンライン会議

出席者：太田、愛甲、四宮、松島、福原、孫田、村田、大島、村上、上田、椎野（敬称略）

【支部大会運営】

- ・ 今年度の支部大会実施にあたり、実施方法については村田委員、松島委員、愛甲委員、上田委員に担当をお願いすることになった。
- ・ 全国大会で使ったシステムを、関西支部からメーリングリストでお送りいただけるとの報告があった。
- ・ もっとも簡単な開催方法として、PDF ファイルにパスワードをかけて支部 HP に掲載する方法が提案された。

【受付方法】

- ・ CPD の関係で名簿の作成が必要。すべての参加者から受け付けてパスワード配布が必要となる。100 名程度の受付が必要となる。
- ・ 期限を設け、Google フォームで受付を行う方法で検討を進めることになった。
- ・ 担当を決め、技術的な方法を相談しながら実施することになった。
- ・ CPD 登録（開催1ヶ月以上前）については松島委員をお願いすることになった。

【要旨・ポスターの提出期限】

- ・ 支部大会開催2週間前の9月25日提出期限とする案が提案された。
- ・ Google フォームをつくり、そこから参加者用のMLを一時的に作成する方法が提示された。
- ・ 投稿整理票やポスターの提出については、発表者にのみ後で連絡すれば良いので、担当で中身を精査すれば良いとの意見があった。

【役割分担について】

- ・ 業務の内容に合わせて、すでに決めている担当については割り振りをやり直すことが提案された。担当については実行委員会メンバーで改めて検討することが提案された。

【要旨集について】

- ・ 要旨集は当日準備せず、希望者に後日郵送とする。申込みの際に希望を確認する、実費を後日振り込んでもらう形とする提案があった。
- ・ WEB 開催なので口頭発表要旨を4ページにしてはどうかとの提案があった。
- ・ データ提出の場合、上限を設ける必要があるのではとの意見があり、PDFで5MB以内とする案が示された。
- ・ 7月の時点の案内文書には、発表者の登録のみ記載すればよいのではないかと、申込み者に対する案内はその後で大丈夫ではとの意見があった。
- ・ 要旨集は後日希望者に配布のため納品は10月いっぱいでもいいのではとの意見があった。
- ・ 印刷部数がどのくらい必要となるのか、という意見があった。
- ・ アイヌ民族共生空間について、寄稿文を書いていただくことが提案された。

【CPD登録について】

- ・ CPD 登録者の当日の確認は全国大会でもしておらず、領収証の代わりになる受付証を発行する方法が考えられる。受付方法については CPD 事務局に確認すべきとの意見があった。

【表彰について】

- ・ 表彰についても同じ方法で実施することが提案された。学生部門についても審査員を選出し、発表・質疑応答を審査いただく形で実施することが提案された。

【後援について】

- ・ 後援は必要ないのかとの意見があった。オブザーバーに後援を受けてもらえそうかどうかを確認した上で、依頼するかどうか検討することになった。

6. 後援・共催等

後援：日本都市計画学会北海道支部 令和2年度第1回都市・地域セミナー
(2020年10月28日、オンライン開催)

後援：日本都市計画学会北海道支部 令和2年度研究発表会
(2020年11月28日、オンライン開催)

2020(令和2)年度日本造園学会北海道支部決算

2021(令和3)年3月31日現在

	収入	予算額	決算額	備考
①	支部大会参加費収益	¥100,000	¥0	支部大会への参加費。2,000円/人(一般参加費)×38人(一般参加者)
①	支部大会受取負担金	¥200,000	¥100,000	一社・北海道造園緑化建設業協会および一社・ランドスケープコンサルタンツ協会北海道支部より、各100,000円
④	事例見学会参加費収益	¥90,000	¥0	見学会への参加費。3,000円/人(一般参加費)×10人、2,000円/人(学生・学会員参加費)×30人
⑤	前年度繰越金	¥1,036,643	¥1,036,643	前年度繰越金より
⑥	学会本部補助	¥300,000	¥300,000	学会本部からの学会支部への補助
⑥	雑収入	¥200	¥11	利子収入
	計	¥1,726,843	¥1,436,654	

事業項目	具体的内容	支出	予算額	決算額	備考
① 支部大会の開催	研究・事例報告会およびシンポジウムを開催する	賃借料	¥150,000	¥0	北海道大学農学部、中央食堂
		臨時雇給与	¥27,000	¥10,000	学生アルバイト
		旅費交通費	¥90,000	¥0	
		諸謝金	¥60,000	¥0	
		消耗品費	¥40,000	¥440	チラシ代、文具代等
		会議費	¥10,000	¥0	弁当・水代
		雑費	¥1,000	¥0	振込手数料
		小計	¥378,000	¥10,440	
② 研究・事例報告発表要旨/会報の発行	支部大会開催時に研究・事例報告発表要旨/会報を編集・発行する	印刷製本費	¥108,000	¥93,500	100冊×850円
		雑費	¥500	¥220	振込手数料
		小計	¥108,500	¥93,720	
③ ランドスケープ遺産および北の造園遺産認定事業	北海道のランドスケープ遺産の収集に努めて目録を作成すると共に、北の造園遺産の新規募集、認定、および広報を行う	諸謝金	¥12,000	¥11,137	選定委員謝金(角幸博氏)、内源泉¥1,137
		印刷製本費	¥40,000	¥0	
		通信運搬費	¥10,000	¥3,360	郵送料
		旅費交通費	¥50,000	¥0	
		賃借料	¥40,000	¥0	北の造園遺産パネル展(札幌市民交流プラザ)
		消耗品費	¥10,000	¥13,257	コピー代、文具代等
		委託費	¥0	¥103,833	パネル制作業務委託(株式会社ブラッツ)
		雑費	¥500	¥990	振込手数料
小計	¥162,500	¥132,577			
④ 事例見学会の実施	研究交流を目的とした見学会を実施する	旅費交通費	¥140,000	¥0	見学会のための大型バス借上代
		雑費	¥1,000	¥0	振込手数料
		小計	¥141,000	¥0	
⑤ 産官学交流人材育成事業	支部会員を中心に、産官学の交流および人材育成を目的とした集会や講演会を行う	諸謝金	¥100,000	¥0	
		旅費交通費	¥250,000	¥0	
		賃借料	¥50,000	¥0	
		消耗品費	¥50,000	¥0	
		次年度繰越金	¥365,343	¥1,144,177	
		小計	¥815,343	¥1,144,177	
⑥ 運営委員会の開催	支部運営および支部大会の開催について話し合う	旅費交通費	¥70,000	¥39,460	札幌市外から運営委員会に参加する委員への交通費補助
		消耗品費	¥10,000	¥0	文具費
		通信運搬費	¥10,000	¥374	郵送料
		賃借料	¥10,000	¥0	
		雑費	¥1,000	¥990	残高証明書
		小計	¥101,000	¥40,824	
		合計	¥1,726,843	¥1,436,654	
⑦ ホームページ・メーリングリストの運営	支部ホームページやメーリングリストを通じた情報発信・交換	コンピューター費	¥20,000	¥14,256	ホームページ/メーリングリストの維持管理
		雑費	¥500	¥660	振込手数料
		小計	¥20,500	¥14,916	

2021・2022年度 (公社)日本造園学会北海道支部 運営委員名簿

肩書き	姓	名	所属
支部長	愛甲	哲也	北海道大学大学院農学研究院花卉・緑地計画学
副支部長	福原	賢二	(株)ドーコン都市・地域事業本部
	四宮	繁	(株)四宮造園
総務担当	椎野	亜紀夫	札幌市立大学デザイン学部
情報担当	市村	恒士	室蘭工業大学大学院工学研究科くらし環境系領域建築ユニット
	上田	裕文	北海道大学メディア・コミュニケーション研究院
	太田	広	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所
会計担当	大島	卓	札幌市立大学デザイン学部
	片桐	尉晶	(有)風土計画舎
	酒井	裕司	イメージランドスケーププランニング
	櫻井	亮一	(株)KITABA
	篠宮	章浩	国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部
	孫田	敏	(有)アークス
	高瀬	勝彦	高瀬環境緑化(株)
	中田	康隆	北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場
	中林	光司	札幌市建設局みどりの推進部みどりの管理課
	野村	理恵	北海道大学大学院工学研究院建築都市空間デザイン部門空間計画分野
	檜澤	肇	北海道開発技術センター 調査研究部
全国大会総務	松島	肇	北海道大学大学院農学研究院花卉・緑地計画学
	吉井	幹	日本データサービス(株)
	村上	健太郎	北海道教育大学教育学部
	村田	周一	高野ランドスケーププランニング(株)
	笠	康三郎	(有)緑花計画
オブザーバー	林	憲裕	国土交通省北海道開発局事業振興部都市住宅課
	岩淵	仁志	国土交通省北海道開発局札幌開発建設部国営滝野すずらん丘陵公園事務所
	福井	智之	環境省北海道地方環境事務所
	山田	学	北海道建設部まちづくり局都市環境課公園緑地グループ
	大和田	望	北海道環境生活部自然環境課企画調整係
	鈴木	浩二	札幌市建設局みどりの推進部みどりの管理課
	関野	壮	(公財)札幌市公園緑化協会

事業計画(2021年度)

委員会名	北海道支部
担当者氏名	椎野亜紀夫(総務担当)
担当者メールアドレス	a.shiino@scu.ac.jp
作成年月日	2021年4月1日

区分 ※1	項目 番号	項目	具体的内容	事業区分との対応※2					新定款第4条各号との対応※3								
				調査 研究	出版	講習 研修	専門 教育	表彰	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
通常 業務	①	支部大会の開催	研究・事例報告会およびシンポジウムを開催する			●	●	●	●		●	●	●	●	●		
	②	研究・事例報告発表要旨／会報の発行	支部大会開催時に研究・事例報告発表要旨／会報を編集・発行する		●						●						
	③	ランドスケープ遺産および北の造園遺産認定事業	北海道のランドスケープ遺産の収集に努めて目録を作成すると共に、北の造園遺産の新規募集、認定、および広報を行う			●		●	●			●	●	●	●		
	④	見学会の開催	北海道内のランドスケープ資源を対象とした見学会を開催する			●			●					●			
	⑤	産官学交流人材育成事業	支部会員を中心に、産学官の交流および人事材育成を目的とした集会や講演会を行う	●		●	●			●		●	●	●		●	
	⑥	運営委員会の開催	支部運営および支部大会の開催について話し合う			●											●
	⑦	ホームページ・メーリングリストの運営	支部ホームページやメーリングリストを通じた、関連行事の案内、関係者の情報交換を進める		●												●
新規 業務																	

- ※1 「通常業務」は毎年度定期的実施している業務。「新規業務」は次年度新たに取り組む業務。
- ※2 事業区分との対応については、該当する欄に●印を付けて下さい。区分については別添ファイル「参考資料_事業区分.pdf」をご参照下さい。
- ※3 定款第4条各号との対応についても、該当する欄に●印を付ける。なお、各号とは以下のとおり。(1)研究発表会、講演会、講習会、見学会および展覧会等の実施、(2)機関誌および図書の発行、(3)調査および研究、(4)学術および技術に係る専門教育とその評価、(5)関連諸団体との連絡および提携、(6)業績および功労の表彰ならびに奨励および援助、(7)普及、啓発および提言、(8)その他本会の目的を達成するために必要な事業

	収入	予算額	備考
①	支部大会参加費収益	¥100,000	支部大会への参加費。2,000円/人(一般参加費)×50人(一般参加者)
①	支部大会受取負担金	¥200,000	一社・北海道造園緑化建設業協会および一社・ランドスケープコンサルタンツ協会北海道支部より、各100,000円
④	事例見学会参加費収益	¥90,000	見学会への参加費。3,000円/人(一般参加費)×10人、2,000円/人(学生・学会員参加費)×30人
⑤	前年度繰越金	¥1,144,177	前年度繰越金より
⑥	学会本部補助	¥300,000	学会本部からの学会支部への補助
⑥	雑収入	¥200	利子収入
	計	¥1,834,377	

事業項目	具体的内容	支出	予算額	備考
① 支部大会の開催	研究・事例報告会およびシンポジウムを開催する	賃借料	¥150,000	支部大会会場費
		臨時雇給与	¥27,000	支部大会の受付アルバイト9,000円/人日×3人日=27,000円
		旅費交通費	¥90,000	シンポジウムパネリストへの旅費交通費
		諸謝金	¥60,000	シンポジウムパネリストへの謝金
		消耗品費	¥40,000	複写費、文具費等
		会議費	¥10,000	弁当代、水代等
		雑費	¥1,000	振込手数料
		小計	¥378,000	
② 研究・事例報告発表要旨/会報の発行	支部大会開催時に研究・事例報告発表要旨/会報を編集・発行する	印刷製本費	¥108,000	600円/冊×180冊=108,000円
		雑費	¥500	振込手数料
		小計	¥108,500	
③ ランドスケープ遺産および北の造園遺産認定事業	北海道のランドスケープ遺産の収集に努めて目録を作成すると共に、北の造園遺産の新規募集、認定、および広報を行う	諸謝金	¥12,000	選定委員謝金
		パネル制作費	¥100,000	北の造園遺産認定証の作成、パネル制作費
		通信運搬費	¥10,000	北の造園遺産認定証の郵送費、パネル運搬費
		旅費交通費	¥50,000	ランドスケープ遺産および北海道造園遺産の現地調査
		賃借料	¥40,000	パネル展の会場費
		消耗品費	¥10,000	会場設営等にかかる消耗品費、コピー代
		雑費	¥1,000	振込手数料
		小計	¥223,000	
④ 事例見学会の実施	研究交流を目的とした見学会を実施する	旅費交通費	¥140,000	見学会のための大型バス借上代
		雑費	¥1,000	振込手数料
		小計	¥141,000	
⑤ 産官学交流人材育成事業	支部会員を中心に、産官学の交流および人材育成を目的とした集会や講演会を行う	諸謝金	¥100,000	人材育成のための講演会講師謝金
		旅費交通費	¥200,000	産官学交流/人材育成のための旅費交通費
		賃借料	¥50,000	会場費
		消耗品費	¥50,000	複写費、文具費、資料費等
		次年度繰越金	¥462,377	次年度以降の産官学交流および人材育成事業費として繰り越し
		小計	¥862,377	
⑥ 幹事会、常任幹事会の開催	支部運営および支部大会の開催について話し合う	旅費交通費	¥70,000	札幌市外から幹事会に参加する幹事への交通費補助
		消耗品費	¥10,000	複写費、文具費、資料費等
		通信運搬費	¥10,000	郵便、ファックス等
		賃借料	¥10,000	会場費
		雑費	¥1,000	残高証明書等
		小計	¥101,000	
⑦ ホームページ・メーリングリストの運営	支部ホームページやメーリングリストを通じた情報発信・交換	コンピューター費	¥20,000	ホームページ/メーリングリストの維持管理
		雑費	¥500	振込手数料
		小計	¥20,500	
	合計	¥1,834,377		